



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月8日

上場会社名 三精テクノロジーズ株式会社
 コード番号 6357 URL <http://www.sansei-technologies.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 良知 昇

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山邊 隆義

TEL 06-6393-5621

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	9,879	14.3	76	89.5	192	74.5	36	92.4
2019年3月期第1四半期	11,526	85.9	728	62.5	752	51.8	482	45.9

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 137百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 439百万円 (5.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	1.98	1.96
2019年3月期第1四半期	26.17	25.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	65,976	30,021	45.3	1,620.44
2019年3月期	69,188	30,481	43.9	1,645.77

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 29,912百万円 2019年3月期 30,367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		17.50		17.50	35.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		17.50		17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	5.3	3,300	23.6	3,200	25.3	1,250	54.5	67.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	19,332,057 株	2019年3月期	19,332,057 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	872,397 株	2019年3月期	880,197 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	18,459,489 株	2019年3月期1Q	18,429,476 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績予想の前提となる条件及び利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済状況は、国内は引き続き堅調な雇用環境を背景に、個人消費は緩やかな回復基調で推移したものの、海外では米国との貿易摩擦に起因する中国経済の減速懸念や、米国金融政策の緩和への転換等から、全体として先行きについては不透明な状況が続きました。

このような環境下、当社グループは遊戯機械・舞台設備・昇降機の3事業で、業績の向上に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は9,879百万円（前年同期比14.3%減）、営業利益は76百万円（同89.5%減）、経常利益は192百万円（同74.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は36百万円（同92.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（売上高はセグメント間の内部売上を含んでおりません）

なお、当第1四半期連結会計期間より、当社グループの事業内容に合わせ、報告セグメントの区分方法を見直しております。

当社グループは従来「製品製造関連」、「保守改修関連」を報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「遊戯機械」、「舞台設備」、「昇降機」に区分して記載する方法に変更しております。これに伴い、従来「保守改修関連」に区分・記載しておりました保守改修関連事業を「遊戯機械」、「舞台設備」、「昇降機」の各報告セグメントに含めて記載しております。

遊戯機械

海外の大型案件の遅延や中国の景気減速の影響等から、売上高は6,372百万円（前年同期比19.2%減）、セグメント利益は0百万円（同100.0%減）となりました。

舞台設備

大規模な改修案件は少なかったものの、大型公共ホール新設の売上計上が進み、利益率の高いコンサート等への仮設機材の納入が順調であったこと等を主因として、売上高は2,647百万円（同1.7%減）となりましたが、セグメント利益は393百万円（同482.9%増）となりました。

昇降機

ダムや会館等の特殊案件の売上計上が進んだ前年同期に比し、当第1四半期は、住宅用中心の売上となったことから、売上高は827百万円（同9.8%減）、セグメント利益は12百万円（同85.8%減）となりました。

その他

売上高は31百万円（同13.7%増）、セグメント利益は15百万円（同27.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,806百万円減少し、35,000百万円となりました。これは主に、売上債権の回収により現金及び預金が1,713百万円増加したのに対し、受取手形及び売掛金が5,598百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ405百万円減少し、30,976百万円となりました。これは主に、償却が進捗したことにより、無形固定資産が468百万円減少したためであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ3,211百万円減少し、65,976百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2,432百万円減少し、17,275百万円となりました。これは主に、前受金が1,752百万円、支払手形及び買掛金が980百万円それぞれ減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ318百万円減少し、18,679百万円となりました。これは主に、返済が進んだことにより長期借入金が306百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ2,750百万円減少し、35,955百万円となりました。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べ460百万円減少し、30,021百万円となりました。これは主に、配当金支払いにより利益剰余金が286百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、現時点において2019年5月10日に公表した数値を見直しておりません。今後の業績の推移により、見直しの必要が生じた場合には、すみやかに開示致します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,344,718	11,057,825
受取手形及び売掛金	24,539,795	18,940,802
電子記録債権	139,689	393,328
仕掛品	771,257	1,122,509
原材料及び貯蔵品	1,721,155	1,942,183
その他	1,392,468	1,648,796
貸倒引当金	△102,057	△104,783
流動資産合計	37,807,027	35,000,662
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,278,990	5,243,549
土地	4,227,306	4,336,778
その他（純額）	1,164,935	1,339,427
有形固定資産合計	10,671,232	10,919,755
無形固定資産		
のれん	10,429,637	10,230,410
その他	3,669,158	3,400,173
無形固定資産合計	14,098,796	13,630,583
投資その他の資産		
投資有価証券	5,103,377	4,991,078
その他	1,509,272	1,436,229
貸倒引当金	△1,645	△1,645
投資その他の資産合計	6,611,005	6,425,661
固定資産合計	31,381,034	30,976,000
資産合計	69,188,062	65,976,662

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,365,794	3,385,130
短期借入金	1,248,975	1,548,450
1年内返済予定の長期借入金	1,276,008	1,251,008
未払法人税等	684,373	122,221
未払消費税等	165,696	122,426
前受金	7,991,272	6,239,153
賞与引当金	506,526	395,748
役員賞与引当金	34,750	-
工事損失引当金	1,179,676	1,363,730
その他	2,254,855	2,847,979
流動負債合計	19,707,928	17,275,848
固定負債		
長期借入金	15,783,974	15,477,272
繰延税金負債	1,099,141	1,014,785
退職給付に係る負債	2,072,009	2,083,283
その他	43,368	104,363
固定負債合計	18,998,494	18,679,703
負債合計	38,706,423	35,955,552
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,251,279	3,251,279
資本剰余金	2,429,502	2,431,362
利益剰余金	23,359,730	23,073,446
自己株式	△443,285	△439,354
株主資本合計	28,597,227	28,316,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,394,967	1,316,305
繰延ヘッジ損益	8,793	2,332
為替換算調整勘定	362,070	273,828
退職給付に係る調整累計額	4,390	3,504
その他の包括利益累計額合計	1,770,222	1,595,970
新株予約権	114,189	108,405
純資産合計	30,481,639	30,021,110
負債純資産合計	69,188,062	65,976,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	11,526,302	9,879,599
売上原価	8,560,681	7,514,194
売上総利益	2,965,620	2,365,405
販売費及び一般管理費	2,237,040	2,288,624
営業利益	728,579	76,780
営業外収益		
受取利息	1,620	662
受取配当金	56,455	70,552
保険配当金	735	103,887
その他	13,119	13,061
営業外収益合計	71,930	188,163
営業外費用		
支払利息	32,794	59,682
支払手数料	1,358	1,340
持分法による投資損失	5,488	158
為替差損	5,038	8,813
その他	3,098	2,919
営業外費用合計	47,777	72,914
経常利益	752,732	192,030
特別利益		
固定資産売却益	-	462
特別利益合計	-	462
税金等調整前四半期純利益	752,732	192,493
法人税等	270,496	156,019
四半期純利益	482,236	36,473
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	482,236	36,473

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	482,236	36,473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76,754	△78,662
繰延ヘッジ損益	19,388	△6,460
為替換算調整勘定	△138,854	△88,242
退職給付に係る調整額	△338	△886
その他の包括利益合計	△43,049	△174,252
四半期包括利益	439,186	△137,778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	439,186	△137,778
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

操業度の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産又は流動負債として繰延べております。

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が105,577千円増加し、流動負債の「その他」が41,077千円及び固定負債の「その他」が64,377千円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の損益及び、利益剰余金の当期首残高に与える影響は軽微であります。